
ある日、地球が消滅しました

真逆作家醒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある日、地球が消滅しました

【Nコード】

N7331Z

【作者名】

真逆作家醒

【あらすじ】

タイトルの通りです。地球が消滅しました。これは人類滅亡から始まる物語です。

一話

ある日、地球が消滅しました。

そして帰り際の宇宙飛行士は言ったそうです。

「うー、ヒック。やははは、愛しの地球よ。^{マイホーム}父さん帰ってきましてよーっとくらあ、ただい
……地球、^{マイホーム}がない……」

その後、帰る場所を失った宇宙飛行士の行方を知る者は居ない。それもその筈、人類自体が地球と共に絶滅してしまったのだから。

ほとんどの人間は、大事な人との別れを惜しむ間もなく。地球はいつの間に、無自覚に消えて無くなってしまったのです。あっけなく、何の抵抗も見せずに。

だけれど、たまたま月で活動を行っていた宇宙飛行士達が子孫を残し、月への定住を試みたそうです。結果、『^{↑ンライフ}人類月面定住計画』は成功しました。

二十年ほどで滅びましたが。

そんな都合良く人類が生き残ったりはしません。

これは、

紛れもない現実なのだから。

むしろ、よく二十年ももったと褒め称えるべきです。そう、この世界は人間の都合の良いようには出来ていないのです。

人類に対して都合が良いのは人類だけ。自分に都合が良いのは自

分だけなのと同じように。

私達が今まで現実だと思っていたものは、人が人のために作った人工物なのです。

本当の現実とは、夢のように曖昧で不確かだ。

本当の現実とは、どこまでも幼稚で愚かだ。

その救いようが無いほどの無垢さは、ただ残酷なだけで。

現実とは酷く正直で、だからこそ取り返しが付かない。

現実とは酷く平等で、だからこそ理不尽にも寛容。

現実とは酷く現実的で、だからこそ終末は覆らない。

あんま現実なめないで下さい。いや、買いかぶらないで下さい。

ああ、我らの愛すべき世は、かくも非情であった。

一話（後書き）

二百パー趣味です。

ある日ふと書いてみた、それだけです。

不定期更新なんで、マイペースにやっています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7331z/>

ある日、地球が消滅しました

2011年12月24日11時55分発行